パチンコ・パチスロファン スポGOMI大会in上野

みんなでハッスル!ゴミ探し

植え込みの中にもゴミを発見

人気ライターとファンがタッグ

ゴミ拾いの合間にライターと記念撮影する参加者

炎天下に総勢111人 量と質でポイント競う

日遊協と一般社団法人ぱちんこ広告協議会（PAA）は9月7日、ゴミ拾いにスポーツの要素を加えたイベント「パチンコ・パチスロファン スポGOMI大会in上野」を共同開催した。人気ライター11人と全国から応募してきたパチンコファン42人が参加した。日遊協社会貢献・環境対策委員会、東京都・関東支部、PAAからも58人が加わって運営協力などを行った。

事前の予報では天候が崩れるとされていた週末だったが、イベント当日は朝から快晴で気温も上昇する、蒸し暑い一日となった。参加者は汗ばむ陽気のなか、上野恩賜公園を中心とした上野周辺エリアでゴミを拾いながら、いつもはパチンコ店内でしか見ることのできない人気ライターとの青空の下での交流を大いに楽しんだ。

「スポGOMI」は「スポーツ」＋「ゴミ拾い」の造語で、企業や団体が社会貢献として従来から取り組んできた清掃活動に、競技や競争の要素を加えることでスポーツイベントに昇華したもの。5〜6人で編成されたチームが制限時間内に予め決められたエリア内のごみを拾い、最終的に集めた量と質をポイントに換算して順位を競い合う。監修を行う一般社団法人ソーシャルスポーツイニシアチブによると、2008年の開始以後、現在までに世界で約700の大会が行われ、参加者も延べ8万人に上っているという。

今回、日遊協とPAAが共催した「スポGOMI」は、日遊協が昨年から取り組む「全国クリーンデー」活動におけるメインイベントという位置づけとなる。

9月1日から10日までを全国一斉の清掃活動期間として会員企業に呼びかける「全国クリーンデー」活動は昨年からスタートしたもので、期間中は全国約120か所の事業所等の7600人近くが参加した。また、期間中のメインイベントとして、東京・お台場海浜公園で海岸清掃を行う催し「東京ベイ・クリーンアップ大作戦」にも、会員企業有志約60人が参加するなど大きな盛り上がりをみせた。

今年のクリーンデーのメインイベントについては、「パチンコ業界

東上野エリア「上野パチンコ村」でもゴミ拾い

知念安光・
日遊協社会貢献・環境対策委員会
担当理事

大島克俊・一般社団法人
ぱちんこ広告協議会理事長

来賓の太田雅久
台東区議会議員

各チームが集めたゴミを計量

道端に落ちている
タバコの吸殻を拾う
参加者

にとってはファンも大切な存在。ファンも巻き込んで何か企画を」という方向性をベースに協議を進め、PAAとの共催による「人気のパチンコ・パチスロライターと共にファンがゴミ拾いを行う」という企画が立ち上がった。

当初、ファン参加型の社会貢献活動という異例の催しに、主催者の間から本当にファンが集まるか不安視する声も挙がっていたというが、募集を開始すると応募は早々に定員いっぱいとなり、さらに当日のキャンセルもほぼ無かったなど、結果的にファンの熱気の高さがうかがわれるものとなった。遠くは九州・福岡から参加したファンもいた。

9時30分から行われた開会式では冒頭、主催者代表として知念安光・日遊協社会貢献・環境対策委員会担当理事があいさつ。集まったファンやライター、関係者に感謝の意を示すとともに、「パチンコに関連のある上野をきれいにするという取組みをアミューズメント業界に相応しく、スポGOMIで楽しみながら行う。皆様も楽しみながら環境について考えていただけたらと思う」と述べた。

来賓の太田雅久・台東区議会議員のあいさつ、佐藤聖子・広報調査委員会副委員長からのSDGs解説（9ページ参照）、運営のソーシャルスポーツイニシアチブによるルール説明に続いて、12チームに分かれた参加者が作戦会議。10時10分には全員による気合の掛け声を合図に競技をスタートした。

各チームは公園内、上野駅周辺、さらにいわゆる「パチンコ村」と呼ばれる東上野エリアまで足を延ばし、競技時間の1時間をフルに使ってゴミを探索。それぞれ他のチームとは異なるルートを辿って足早に移動を繰り返し、道端や建物の隙間部分などの見えやすい場所はもとより植え込みの奥にも足を踏み入れて、隠すように捨てられたタバコの吸殻やペットボトル、ビニール袋などを収集した。

成田ゆうこ氏チームV

また、人気ライターとの共同作業ということで、ゴミ拾いの合間には楽しそうに記念写真を撮る姿もみられた。

約1時間後には全チーム汗だくになりながらゴール地点に集結。

パチンコ・パチスロファン スポGOMI大会in上野

ライター、パチンコファンら総勢111人が参加

優勝した成田ゆう子チーム

各チームのゴミを計量しゴミの種類も含めてポイントに換算し集計した結果、ライター・成田ゆうこ氏の参加したチームが優勝を果たした。

成田氏は優勝コメントなどで「初めて参加したがこんなに楽しいと思わなかった。スポーツのテイストがあるために燃えてくる。頭を働かせたり体を動かしたり勝負に徹した。駐車場とか植え込みとか、人が心理的にゴミを捨てたくなりそうな場所を重点的に推理して探すのが攻略法。パチンコ・パチスロと似ていて宝探しのようだった。ファンの人と一緒に街を歩く機会がまず無いのでとても貴重な一日となった」などと語った。

集めた総重量64キロ超

この日、全チームが集めたゴミの総重量は64・15kg。運営団体によると、参加人数に対して非常に多い量だという。

参加ライターからは、「ファンの方と一緒に楽しくゴミを集めたり、社会貢献できたりするというのは非常に良いことだと思う。ここにゴミがあるんじゃないか、こうしたら勝てるんじゃないか、などと予測して立ち回るのは、パチンコ・パチスロで良い台を探すという楽しみ方と通じるものがあって面白かった」などの声が聞かれた。

会の締め括りに共同主催者としてあいさつを行った大島克俊・一般社団法人ぱちんこ広告協議会理事長は、「初めての試みということで今回、『ゴミはあるのか』『天気は大丈夫か』という2つの心配事があったがこうして無事、盛大に終われた。本日集まってくれたファンの皆様がライターの方々と触れ合って楽しんでもらえてよかった。広告協議会は今後もファンと業界のパイプ役になりたいと考えている」などと述べた。

ノベルティ協賛

㈱いなばNEXUS、㈱ガイドワークス、㈱北電子、京楽産業.㈱、キリンビバレッジ㈱、コスモ・イーシー㈱、㈱コナミアミューズメント、サミー㈱、㈱サミーネットワークス、㈱サンセイアールアンドディ、㈱三洋物産、㈱SANKYO、㈱ジーズ、ダイコク電機㈱、㈱高尾、豊丸産業㈱、㈱ニューギン販売、㈱パイオニア、㈱藤商事、㈱平和・㈱オリンピア、山佐㈱、㈱ユニバーサルエンターテインメント

運営協力

㈱アーバンプロジェクト、㈱アプリイ、㈱いなばNEXUS、ウチダ㈱、㈱エッジ、㈱エンタテインメントビジネス総合研究所、オムロンアミューズメント㈱、㈱ガイドワークス、ゲンダイエージェンシー㈱、㈱SANKYO、㈱山水、㈱三洋物産、GMOコマース㈱、㈱ジーズ、ジーピーエム㈱、J－NET㈱、㈱ジャパンニューアルファ、ダイコク電機㈱、㈱Takumi Bank、㈱千歳観光、東和産業㈱、トリックスターズ・アレア㈱、㈱中商、日拓ホーム㈱、㈱ネクストアドバンス、ピーアークホールディングス㈱、㈱ヒカリシステム、富國物産㈱、㈱プラントピア、㈱マルハン、㈱メディアミックス、㈱安田屋

SDGsとは

2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)を略してSDGs(エスディージーズ)と呼びます。右図の真ん中近くにあるカラフルな円が、SDGsが目指す17の目標を表しています。

193の国連加盟国が賛同し、それぞれの国がこの17の目標に向かって活動を行っています。つまり今、この目標実現のために世界中が動いていることになります。

17の目標は何のためにあるのか

「持続可能な開発目標」と日本語訳されており、SDGsのビジョン「持続可能で強靭、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現化された未来への先駆者を目指す。」ための具体的な目標として設けられています。

誰がやるのか

17の目標、169のターゲット、230の指標という三層構造で成り立っているSDGsですが、では実際に行うのは誰なのでしょうか。国や大企業がやることなのでは？

もちろん、政府はSDGs実現に対する責任を負っていますし、日本の企業集団である経団連も積極的に取り組んでいます。しかし、目標をよく読んでいただくと、組織の規模に関わらずできることが多くあります。個人的なレベルでは、水を大切に使う、環境に配慮した商品を買う、地域清掃に協力する、などはちょっとした心がけで実現可能です。企業レベルになれば、寄付、地域支援、企業が存続するために必要なあらゆる行動などに加え、環境負荷の少ない商品を取り扱うことや、ビジネスモデルそのものをSDGsに則ったニュービジネスとして創造することも不可能ではありません。

また見方を変えれば、実は日頃の行動の中にSDGsに当てはまる活動が多く存在しています。つまり、それぞれの立場でできることは無限にあり、意識するかしないかが最初の分岐点なのかもしれません。

日遊協のSDGs

遊技業界の横断的組織(ホール経営企業、メーカー、その他業界関連企業が参画)である日遊協では、2018年からSDGsへの取組みを始めました。中心になっているのは社会貢献・環境対策委員会(知念安光担当理事、福地光委員長)です。

17の目標のうち、まずは環境保全に関わる分野での取組みを進めています。2008年から10年かけて行った植林活動「共生の森」をベースにして、それに続く活動として東日本大震災被災地での植栽活動「みどりのきずな・再生プロジェクト」へ現在参加中です。

また毎年9月初旬を期間として、日本全国の日遊協会員企業が一斉に行う地域清掃活動「全国クリーンデー」などもSDGsの一つです。これらの活動の対象となるのは上の3つの目標と認識しています。

SDGs 17の目標